

令和8年度瀬戸市地域産業振興会議総会 議事録

【日 時】 令和8年5月22日（金）午前10時30分から午前11時30分まで

【場 所】 瀬戸蔵4階多目的ホール

【出席者】 別添のとおり

議 事 内 容

1 あいさつ

- ・顧問 瀬戸市 川本雅之市長からあいさつ
- ・会長 瀬戸商工会議所 河村誠悟会頭からあいさつ

2 議題

● 河村会長からの説明

第1号議案 役員の指名について

- ・瀬戸市地域産業振興会議の役員について、瀬戸市地域産業振興会議規約第11条第2項、第13条第2項及び第14条第2項に基づき、会長が副会長、会計担当理事、監事、顧問及び参与を指名した。

● 事務局からの主な説明

第2号議案 令和7年度瀬戸市地域産業振興会議事業報告

(1) 事務局から別紙資料に従い説明した。

ア 「産業支援・交流事業」

- －産業支援センターせとにおいてコーディネーターの勤務体制を見直し、積極的な企業訪問を実施した結果、事業者訪問数は113件（前年度56件）と大幅に増加したことを報告した。
- －雇用関係助成金セミナーや、中小企業支援施策説明会を実施したことを報告した。
- －市内事業者が利用できる補助制度をまとめた「事業者支援ガイド」を作成し、啓発を行ったことを報告した。
- －販路開拓、知的財産、職場環境づくり応援、新商品発掘創出事業等の各種補助金の利用状況を報告した。
- －メールマガジンやSNS、金城学院大学の学生と連携した情報発信を行ったことを報告した。
- －ジェトロと連携した高度外国人材採用セミナーを開催したことを報告した。
- －新規事業の「実践型事業開発セミナー」において、市内7社が参加し、全7回の講座形式で実践的な商品開発を実施したことを報告した。
- －スタートアップ連携事業補助金の利用状況（3件）について報告した。

イ 「産学・産産連携事業」

- －名古屋工業大学と連携し、63名が参加した企業見学会（4社訪問）や、生成AI活用セミナーを実施したことを報告した。
- －「STATION AI」に入居し、週1～2回の訪問や瀬戸信用金庫等との共催セミナーの実施を通じて、スタートアップと市内企業のマッチングを23件創出したことを報告した。

－瀬戸市長によるリバースピッチイベントを STATION Ai で開催し、50名以上の入居企業と産業課題について意見交換を行ったことを報告した。

ウ 「人材育成・雇用促進事業」

－瀬戸商工会議所講習会、学生と企業のせまちマッチング事業（企業44名、学生39名登録）、未来創造たまご塾 in せと等を実施したことを報告した。

エ 「創業支援事業」

－「せと・しごと塾」において、7月から11月まで開催し13名が卒塾したことを報告した。

－起業セミナー、せと・創業くらぶ、せと・創業カフェ、個別相談（42回実施）等を通じた創業支援を行ったことを報告した。

第3号議案「令和7年度 瀬戸市地域産業振興会議 収支決算報告」について

(1) 事務局から別紙資料に従い説明した。

ア 収支決算報告の支出の部において、各事業の効率的な運営等により、瀬戸市地域産業振興基金の取り崩しを行わずに事業を実施したことを説明した。また、特別会計（創業支援事業）の決算や基金残高についても説明した。

・成田監事から会計帳簿および証拠書類について監査し、適正である旨、報告がなされた。

第2号議案及び第3号議案について

→原案のとおり承認された。

第4号議案「令和8年度 瀬戸市地域産業振興会議 事業計画（案）」について

(1) 事務局から別紙資料に従い説明した。

ア 「産業支援・交流事業」

－「プッシュ型」の伴走支援を強化し、専門的な知見を持つコーディネーターの選定により有益な支援体制を整えることを説明した。

－金城学院大学との連携において、新たに学生が事前に業務体験等をする形式とし、質の高い取材・情報発信を行うことを説明した。

－ジェットロと連携した海外展開支援について、今年度はインバウンドの観点から輸出・越境 EC による海外販路拡大に向けたセミナー等を開催することを説明した。

イ 「産学・産産連携事業」

－「STATION Ai」との連携を深め、新規事業としてスタートアップ企業と連携した「DX・AI 導入事例セミナー」を実施し、市内企業の生産性向上を図ることを説明した。

ウ 「人材育成・雇用促進事業」

－新規事業として、スタートアップ企業や瀬戸・尾張旭雇用対策協議会と連携した「採

用テクニックセミナー」を開催することを説明した。
ーインターンシップ事業において、新たに専門職大学の学生の実務実習を受け入れる形で実施を検討していることを説明した。

エ 「創業支援事業」

- せと・しごと塾において、AI を活用した商圈分析を取り入れるなど、時代に対応したカリキュラムを導入することを説明した。

第5号議案「令和8年度 瀬戸市地域産業振興会議 収支予算（案）」について

(1) 事務局から別紙資料に従い説明した。

ア 新規事業の展開および既存事業の継続のため、予算案を提示し説明した。

イ 一部の事業が、令和7年度に引き続き、国の地域未来交付金の対象事業に認定されたことを説明した。

第4号議案及び第5号議案について

→原案のとおり承認された。

3 その他

(1) 独立行政法人 日本貿易振興機構 名古屋貿易情報センター 平野氏

・ジェトロが今年度実施するインバウンド・越境 EC 支援の取り組みや、海外バイヤー向けオンラインカタログサイト「JAPAN STREET」の活用について情報提供がなされ

(2) 中部経済産業局 産業部 産業振興課 大橋氏

・中東情勢を受けた原油等のエネルギー供給状況と、流通の目詰まり（買い控えや売り惜しみ等）を解消するための経済産業省の相談窓口対応等について情報提供がなされた。

(3) 瀬戸市 川本市長

・第6次総合計画に続く、2040年を見据えた「瀬戸市将来計画」の策定方針や、人口減少等の課題に対し IT・DX やリニア開通をチャンスと捉えて推進していく旨の情報提供がなされた。

以上